



切望の不凋花データ



概要

主神が武器を振り回すたび、空間が歪む。
黒いヴェールを広げたように、空を覆うは凍てついた夜の闇。

「天の星よ、透き通れ。凍れ、凍れ、我らが敵よ！」

雲ひとつない星空に、どこからか雪が降りしきる。
——そして、大地をどよもす開戦の咆哮があがつた。

フォーカスドクトリン

1 条件：ラウンド1のセット時
対象：配役4

2 条件：不凋花の《フラグメント》が減少した時
対象：《フラグメント》を減少させた剪定者

3 条件：剪定者が「種別：アタック」の《スキル》を使用せずターンを終了した時
対象：直前にターンを終えた剪定者

サブドクトリン

サブ1 ハンマーダウン

内容	《フロント》にいる剪定者全員に【ダイスチェック：3個】の攻撃を行います。
描写	古く巨大なハンマー。振りおろされる、圧倒的な質量。 それは単純明快な「死」そのものだ。

サブ2 テイルスイング

内容	inのセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック：2個】の攻撃を行います。
描写	その後、《フォーカス》している剪定者を時計回りに3セル移動させます。 空気が抉られる鈍い音。 目でも追えぬ速さで、太い尾が辺りを薙ぎ払った。

サブ3 ヘイルストーン

内容	不凋花は「ダイス1個」を振ります。
描写	出目が奇数の場合、《フロント》と《バック》にいる剪定者全員に【ダイスチェック：3個】の攻撃を行います。
内容	出目が偶数の場合、《フォーカス》している剪定者と、outのセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック：2個】の攻撃を2回行います。
描写	凍れ、と主神は言った。ただそれだけで、周囲の空気が凍りつく。 「——貫け」、その一言に氷の弾丸が飛んだ。

前半、〈不凋花〉は他のキャラクターたちの連携に、想定以上のダメージを受けることになります。
しかしこのシナリオの〈不凋花〉は、歴戦の〈主神〉です。
「うろたえる」「怖れる」といった行動は避け、「面白いな」「想像以上だ」などと相手を称えていくと、都市を治める〈主神〉の風格が演出できるでしょう。



メインドクトリン

メイン1 凍えよ我が敵

《予兆》の時点で、不凋花は「ダイス3個」を振ります。

内容

《メインドクトリン》の実行時、inのセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック:4個】の攻撃を【《予兆》で振ったダイスの内、奇数の出目の数】回行います。

描写

その後、outのセルの剪定者全員に【ダイスチェック:4個】の攻撃を【《予兆》で振ったダイスの内、偶数の出目の数】回行います。

冬の嵐の化身のごとく。

主神の咆哮とともに、戦場にきらめく雪と氷が降りそそぐ。

メイン2 征服せよ我が戦士

内容

《予兆》の時点で、1・4・7・11のinのセルに「トループマーカー」を配置します。

《メインドクトリン》の実行時、outのセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック:5個】の《貫通攻撃》を行います。

その後、inのセルにいる剪定者全員に【ダイスチェック:3個】の攻撃を行います。

トループマーカー：不凋花の率いる軍勢を表す《マーカー》。

この《マーカー》のあるセルか、《マーカー》のあるセルと隣接するセルで《スキル》を使用するたび、剪定者は「HPを3点減少させるか、同じ番号のセルのoutへ移動する」のどちらかを選択して実行します。

描写

主神の周囲の空間が歪み、戦場に現れる戦士たち。

一糸乱れぬ統率は、彼らの神が為に。主神の命に背くなれ。

メイン3 世界を我が手に

《予兆》の時点で、剪定者全員は「ダイス1個」を振ります。

このラウンドの間、《サブドクトリン》が実行されるたび、出目が奇数だった剪定者全員に追加で【ダイスチェック:2個】の攻撃を行います。

内容

出目が偶数だった剪定者全員は、現在outのセルにいるなら同じ番号のinのセルへ、inのセルにいるなら同じ番号のoutのセルへと配置されます。

描写

《メインドクトリン》の実行時、剪定者全員に【ダイスチェック:23-【このラウンド中に剪定者全員が移動したセルの合計数】個】(下限3)の攻撃を行います。

戦場に吹き荒れる氷雪が更に激しさを増し、視界は白に染まり切る。主神は笑い、天にかざした手を握る。その力に、世界が歪む。

メイン4 終わる世界

内容

《予兆》の時点で、「トループマーカー」を次の通りに変更します。

トループ（壊）マーカー：不凋花の率いる軍勢を表すマーカー。

この《マーカー》のあるセルか、《マーカー》のあるセルと隣接するセルで《スキル》を使用するたび、剪定者はHPを5点減少させます。

その後、その《マーカー》は消滅します。

描写

《メインドクトリン》の実行時、剪定者全員に【ダイスチェック:3+【消滅したトループマーカーの数】個】の《貫通攻撃》を2回行います。

もはや傷だらけの主神の目は、だがギラギラと輝いている。

戦士たちをも捨て駒とした全力の放射は、この地の全てを無に還す。

後半、〈不凋花〉はいよいよ窮地に陥ることでしょう。

しかし力を振り絞り、各キャラクターへの感情を吐き出しながら、記憶に残る暴れぶりを見せてやりましょう。

「メイン4 終わる世界」は、「すさまじい力が凝縮されている」「もし放たれれば〈妖精自治領〉は更地になるだろう」などと、その破壊力を派手に演出したいですね。